

中国の大地震の原子力関係の影響について（9）

20.6.6 13:30

原産協会国際部

四川省にある原子力施設への地震の影響について、関係機関ホームページを通じて得た続報を以下の通りお伝え申し上げます。

関係機関ホームページ情報

◇ 国家環境保護総局 原子力・放射線安全センターHP

2008-5-28

中国環境ニュース

「李干傑 環境保護部（省）副部長（次官）

地震対策・災害救済作業者を慰問 原子力・放射線安全確保を強調」（中文概要仮訳）

- ・ 李干傑 環境保護部（省）副部長（次官）は、同省現地対応チームとともに四川省放射線環境管理センターを訪問し、同センターのほか他省、市からの支援作業者を慰問した。
- ・ 李次官は、地震対策作業は今後新しい段階に入り、原子力・放射線安全が重要になり、責任が重くなる。原子力・放射線安全の問題は、突発事故の可能性、感知しにくさ、一般の人々がとくに敏感、などの特徴があるので、決して軽く考えてはならない、と強調した。
- ・ 今後の作業について、李次官は次のとおり指示した。①各企業の作業を適切に継続し、突発事故に備え、被害を最小限に防止する。②被災地区の放射線源の捜査、回収作業を継続する。③環境物質の放射線モニタリング作業の実施。
- ・ 李次官は、これらの訪問の間に、四川省放射線センターのウラン・トリウム実験室、総合実験室などを訪問し、地震による損害状況、モニタリング担当者の作業状況を詳細に聞いた。
- ・ 李次官はまた、四川双放射線センター、シュルンベルジェ社（世界的な油田開発会社）を訪問し、両者の原子力技術利用部門の被害状況を聞くとともに、一定の厳格な放射線安全確保を求めた。

以上